

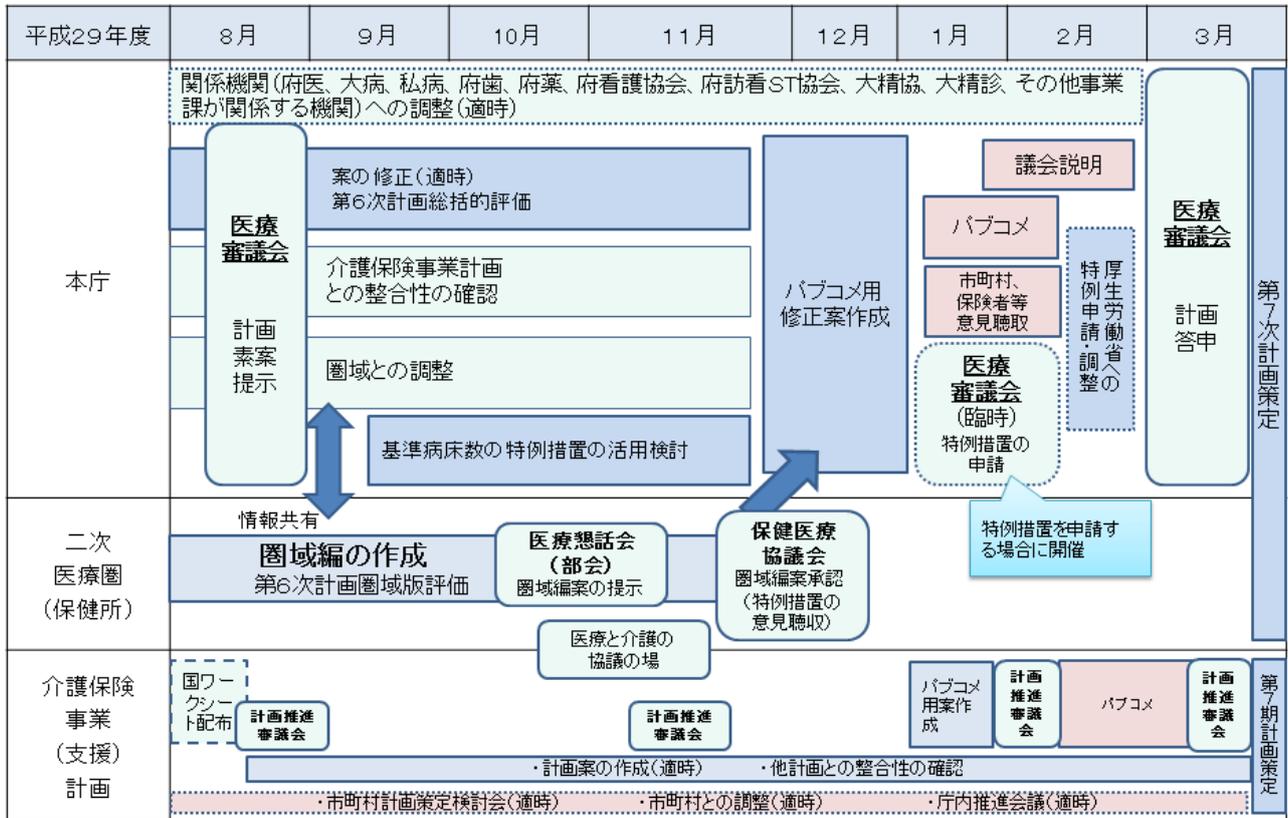
## 大阪府保健医療計画、吹田市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画について

- (1) 第7次大阪府保健医療計画について 資料 4-1
- (2) 第7次大阪府保健医療計画【豊能医療圏域編】(案) 資料 4-2
- (3) 第7次大阪府保健医療計画【豊能医療圏域データ】(案) 資料 4-3
- (4) 第7次大阪府保健医療計画【豊能医療圏域編】(案)  
補足資料 資料 4-4
- (5) 第7期吹田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画  
(第7期 吹田健やか年輪プラン) について 資料 4-5

## 第7次保健医療計画について

吹田保健所 谷口 隆

平成29年度 次期保健医療計画(第7次)策定スケジュール(案)



- 計画の基本的スタンス

- ⇒ 圏域における医療機能の今後のあるべき姿への行政施策指針を示したものの
- ⇒ 高齢化に向けた病床機能の分化連携・在宅医療推進

- 介護保険事業計画との整合性を持たせて作成

- ⇒ 在宅医療に関する記載における具体的事項の紹介
- ⇒ トータルとしての在宅サービス提供量について、各市町村との調整の下に在宅医療・在宅介護のそれぞれのサービス見込み量を算出し、介護保険事業計画との整合性を図っていること

- 具体的な在宅医療推進方策

- ⇒ 在宅療養後方支援病院の取得促進、在宅医療関係者の施策検討への参画、調剤薬局の24時間365日体制への取り組み、訪問看護ステーションの機能強化、医療機関スタッフの在宅医療研修促進、

# 第1節 豊能二次医療圏

## 第1項 豊能二次医療圏内の医療体制の現状と課題

### 1. 地域の概況

#### (1) 人口等の状況

○豊能二次医療圏は、4市2町から構成されており、総人口は1,036,617人となっています。  
また、高齢化率が一番高いのは豊能町（38.9%）であり、一番低いのは吹田市（22.9%）となっています。

図1 市町村別人口(人)(2015年)

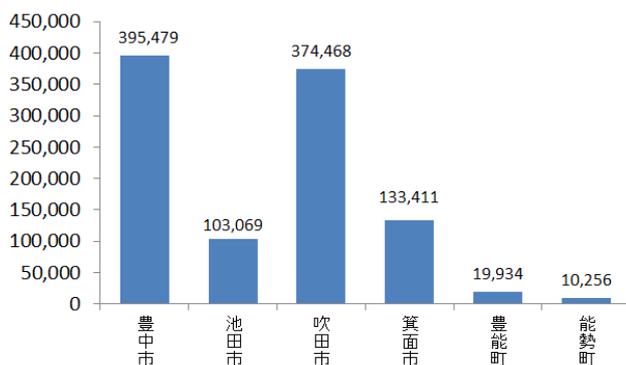
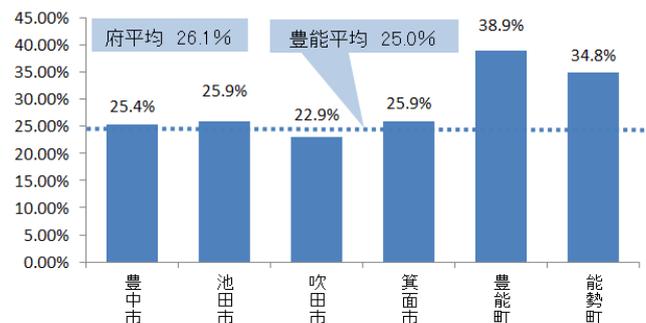


図2 市町村別高齢化率(%) (2015年)



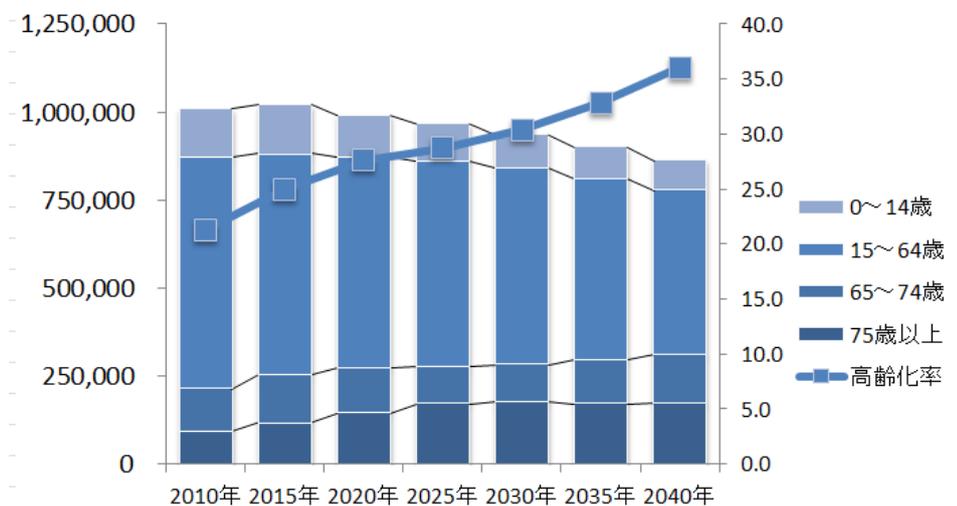
出典 総務省「国勢調査」

#### (2) 将来人口推計

○人口は2015年をピークに減少傾向であると推計されています。

○高齢化率は2010年の21.3%から2040年には36.0%に増加すると推計されています。

図3 将来人口(人)と高齢化率(%)の推計



出典 2010年・2015年：総務省「国勢調査」・2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

### (3) 医療施設等の状況

○地域医療支援病院等一定の要件を満たす「主な医療施設の状況」は表1・図4、「診療報酬における機能に応じた病床の分類と介護施設等の状況」は図4、「診療所の状況」は図5のとおりです。

表1・図4 主な医療施設の状況

所在地	病院名	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院
豊中市	1 関西メディカル病院			○											
	2 社会医療法人北斗会さわ病院			○											
	3 市立豊中病院		○		○			□				○	○		
	4 独立行政法人国立病院機構刀根山病院				○			○						○	○
池田市	5 市立池田病院		○		○		○								
吹田市	6 大阪市立弘済院附属病院				○										
	7 医療法人沖繩徳洲会吹田徳洲会病院						○								
	8 社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院		○		○		○	○	○	○					
	9 国立研究開発法人国立循環器病研究センター	○			○							○			
	10 市立吹田市民病院				○			○							
	11 大阪大学医学部附属病院	○			○			□	○	○		□			○
	12 大阪大学歯学部附属病院				○										
13 社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院		○		○			○				○				
箕面市	14 箕面市立病院		○		○		○								
合 計		2	5	2	11	0	2	8	2	2	0	4	1	1	2

※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。

※ 「周産期母子医療センター」の□印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

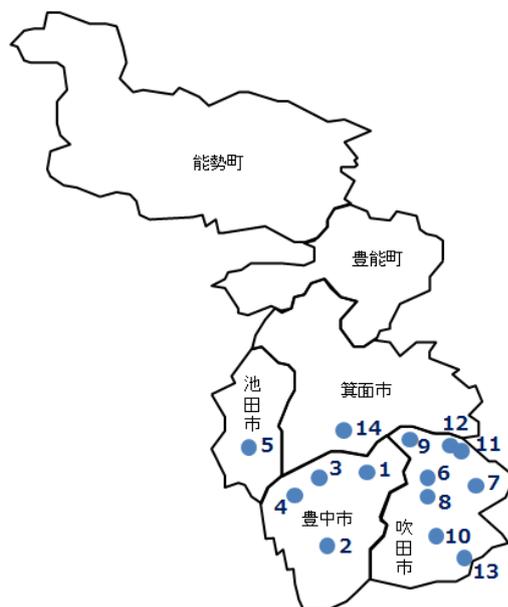
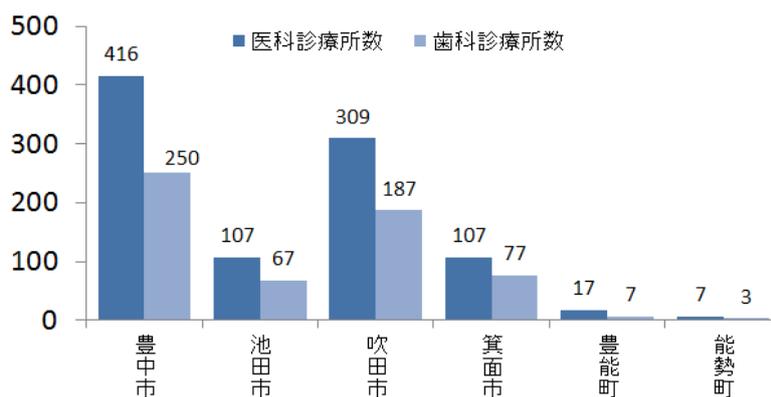


図4 診療報酬における機能に応じた病床の分類と介護施設等の状況

豊能				医療保険		介護保険		その他
一般病床		DPC 11施設 4,401床		一般病棟入院基本料 22施設 3,742床		療養病床		介護保険施設 67施設 5,795人定員
特定機能病院 2施設 1,307床 (一般病床に限る)	専門病院 0施設 0床	小児 入院医療管理料 4施設 192床	療養病棟 入院基本料 13施設 1,103床	緩和ケア病棟 2施設 76床	回復期 リハビリテーション 13施設 877床	特別養護 老人ホーム 44施設 3,598人定員	有料老人ホーム 87施設 4,720人定員	介護老人 保健施設 23施設 2,197人定員
救命救急 4施設 63床	特定集中治療室 9施設 88床	障害者施設等 10施設 863床	地域包括ケア病棟 (入院料) 1施設 40床	特殊疾患 (入院医療管理料) 0施設 0床	地域包括ケア病棟 (入院医療管理料) 1施設 41床	介護療養型 医療施設 (介護療養病床) 0施設 0人定員	養護老人ホーム 3施設 170人定員	軽費老人ホーム 12施設 572人定員
ハイケアユニット 4施設 58床	脳卒中ケアユニット 1施設 10床	特殊疾患 (入院医療管理料) 0施設 0床	有床診療所 一般 18施設 216床	有床診療所 療養 0施設 0床		主な地域密着型 サービス 87施設 1,539人定員	サービス 付き 高齢者向け 住宅 56施設 2,310人定員	
総合周産期特定集中治療室 母体・胎児 1施設 3床 新生児 1施設 9床	新生児 特定集中治療室 3施設 18床	新生児 治療回復室 3施設 30床				地域密着型 養護老人ホーム 17施設 481人定員		
小児 特定集中治療室 0施設 0床	一類感染症 0施設 0床					認知症高齢者 グループホーム 70施設 1,058人定員		
精神病床 6施設 2,042床	結核病床 1施設 90床	感染症病床 1施設 14床						

出典 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織（DPC 評価分科会）審議会資料（2015年度3月現在）・病床機能報告（2016年7月1日時点の医療機能：2017年2月17日集計）・大阪府健康医療部資料（一類感染症は2017年6月16日現在、その他病床・有床診療所は2017年6月30日現在）・大阪府福祉部資料（認知症高齢者グループホームは2017年1月1日現在、その他施設は2017年4月1日現在）

図5 診療所の状況（2015年）



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」

## 2. 疾病・事業別の医療体制と受療状況

### (主な現状と課題)

- ◆特定機能病院2施設、地域医療支援病院5施設、公的医療機関等11施設と、大規模病院が多く、医療機関に恵まれています。
- ◆各医療機関における診療分野は幅広く、高度な医療サービスを圏域内の医療機関で受けることができますが、限られた医療資源の効果的活用の視点からは更なる検討が必要です。
- ◆認知症を含む精神・身体疾患合併症患者の対応が出来る医療機関が少ない状況です。
- ◆不要不急の搬送件数が増加していることが救急医療の負担となっているため、医療機関や消防との連携による救急の適正利用に関する更なる啓発が必要です。

### (1) 医療体制

#### 【がん】

○がん治療を行う病院（診療所）のうち、5大がん治療を行う病院（診療所）は、手術可能な病院が15施設（診療所は0施設）、化学療法可能な病院が18施設（診療所は15施設）、放射線療法可能な病院が7施設（診療所は0施設）あります。

○がん治療を行う病院数は、人口10万人対で見ると府平均よりも少ないですが、病床数で見ると緩和ケア病床以外で府平均を上回っています（P110～112参照）。

#### 【脳卒中等の脳血管疾患】

○脳卒中の急性期治療を行う病院のうち、脳動脈瘤根治術可能な病院が6施設、脳血管内手術可能な病院が7施設、t-PA治療可能な病院が9施設あります。

○脳血管疾患治療の実施病院数は、人口10万人対で見ると府平均よりも少ないですが、病床数で見ると府平均を上回っています（P128、130参照）。今後、脳梗塞の増加が見込まれます。

#### 【心筋梗塞等の心血管疾患】

○心血管疾患の急性期治療を行う病院のうち、経皮的冠動脈形成術可能な病院が9施設、経皮的冠動脈ステント留置術可能な病院が10施設、冠動脈バイパス術可能な病院が4施設あります。

○心血管疾患患者の平均在院日数は8.9日と、府平均7.7日を上回っています。増加が予測される慢性心不全を含めた医療機関連携についても、検討が必要です（P139参照）。

#### 【糖尿病】

○糖尿病の治療を行う病院（診療所）のうち、インスリン療法可能な病院が33施設（診療所は183施設）、また、合併症治療については、網膜光凝固術可能な病院が10施設（診療所は32施設）、血液透析が可能な病院が16施設（診療所は12施設）あります。

○糖尿病の重症化予防（患者教育）を行う病院（診療所）は33施設（診療所は155施設）あり、人口10万人対でみると府平均より少ないです。そのうち、栄養指導外来への紹介受診が可能な病院は3施設あります（P155、P158参照）。

#### 【精神疾患】

○地域連携拠点医療機関については、多様な精神疾患に対応するために、疾患ごとに定めており、統合失調症は14施設、うつ病は1施設、認知症は11施設となっています。

○身体・精神合併症患者対応可能な病院は、2施設（三次告示医療機関）あります。

○自損患者の応需率は、29.1%（2015年上半期）から46.9%（2017年上半期）と改善されてきています（豊中市保健所調べ）。

#### 【救急医療】

○初期救急医療機関は、医科6施設、歯科6施設あります。救急告示医療機関は、二次救急告示医療機関24施設、三次救急告示医療機関2施設（うち1施設は二次・三次告示医療機関）あります。

○救急搬送件数は、2013年21,917件、2017年24,958件（いずれも1～6月の上半期）と、増加しています（豊中市保健所調べ）。

#### 【災害医療】

○地域災害拠点病院として2施設が指定されています。

○救急病院のBCP（事業継続計画）策定率は12%と、未整備が多い状況です。

**【周産期医療】**

○分娩を取り扱っている施設は、病院9施設、診療所8施設、助産所3施設あります。総合周産期母子医療センターとして1施設指定、地域周産期母子医療センターとして3施設認定しています。

○産科病床数は減少傾向にありますが、圏域内での自己完結率は92.1%と高くなっています（P224参照）。

**【小児医療】**

○小児科病床を有する病院が6施設あります。小児初期救急医療機関は5施設、二次救急医療機関は5施設あります。

○5施設輪番制による二次救急医療体制を整備しており、豊能広域こども急病センター、開業医の初期救急と二次救急の連携がスムーズになり安定した小児救急体制が確保されています。

○人工呼吸器等の在宅高度医療児に対応する訪問診療医、後方支援病院、レスパイト受け入れ病院、訪問看護ステーションの充実が求められています。

## (2) 患者の受療状況

### 【外来患者の流出入の状況(2015年度 国保・後期高齢者レセプト)】

○豊能二次医療圏において、圏域外への患者流出割合は10%から25%程度となっており、圏域内の自己完結率は高くなっていますが、糖尿病と救急医療、小児医療では、流出超過となっています。

図6 外来患者の流出(割合)

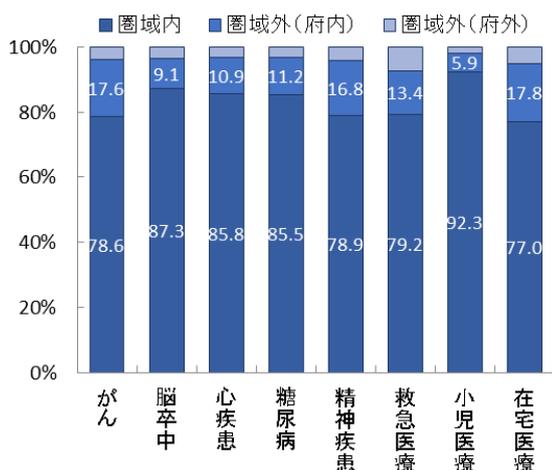
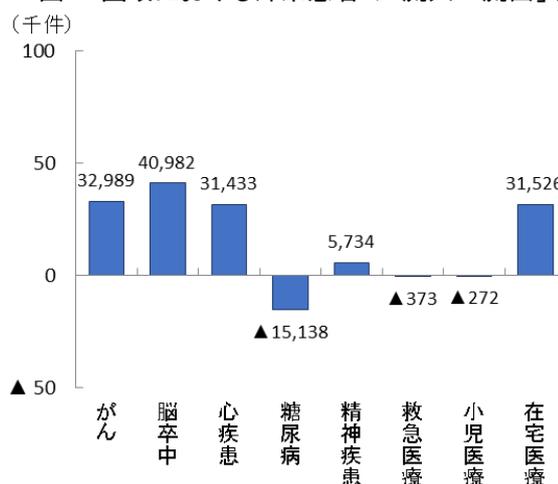


図7 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



出典 厚生労働省「データブック Disk1」

### 【入院患者の流出入の状況(2015年度 国保・後期高齢者レセプト)】

○豊能二次医療圏において、圏域外への患者流出割合は10%から35%程度となっており、圏域内の自己完結率は高くなっていますが、多くの医療で、流入超過となっています。

図8 入院患者の流出(割合)

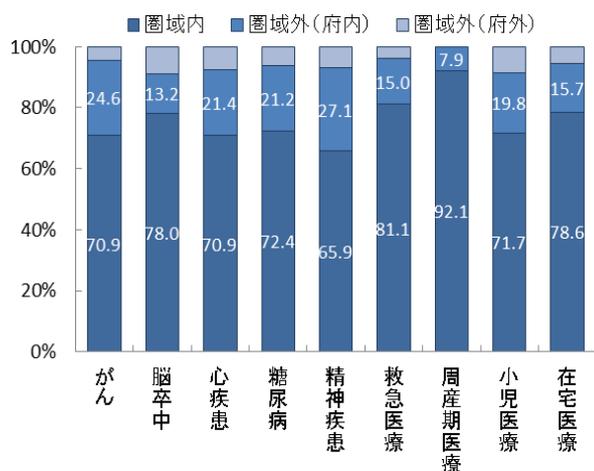
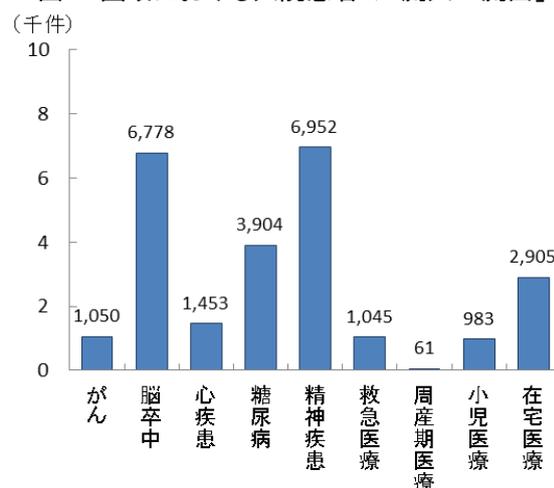


図9 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



出典 厚生労働省「データブック Disk1」

### 3. 地域医療構想（将来のあるべき病床機能）

（主な現状と課題）

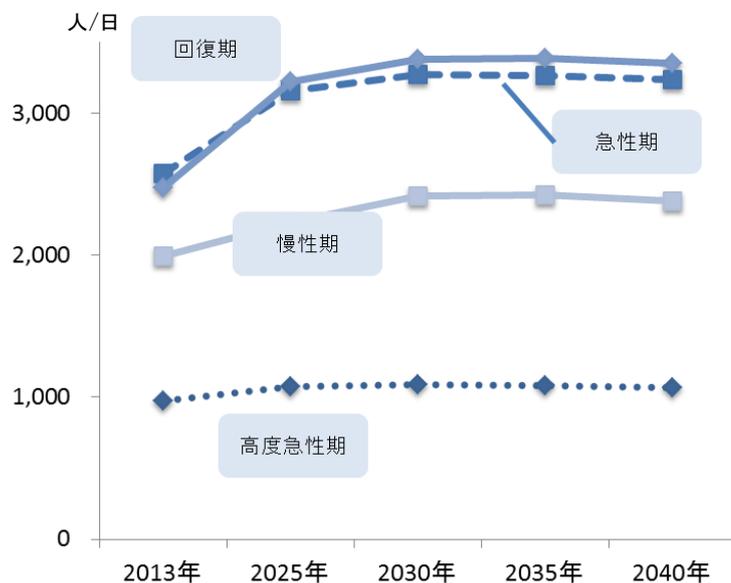
- ◆ 今後予測される急性期と回復期の需要増加と、2025年必要病床数の病床機能区分ごとの割合（高度急性期 12.5%、急性期 35.2%、回復期 31.2%、慢性期 21.2%）を考慮し、大幅な不足が予測される回復期を確保していく必要があります。
- ◆ 既に実施されている保健所管内病院関係者の会議等において、地域で必要とされる病床機能や役割を明確にし、地域の医療体制について引き続き検討する必要があります。

#### （1）医療需要の見込み

○2025年の1日当たりの入院医療需要は、「高度急性期」は1,077人/日、「急性期」は3,154人/日、「回復期」は3,219人/日、「慢性期」は2,227人/日となる見込みです。

○いずれの病床機能も2030年ごろまで増加することが見込まれています。その後、減少に転じますが、2040年においても2025年以上の入院医療需要となることが予想されています。

図・表1 病床機能ごとの医療需要の見込み

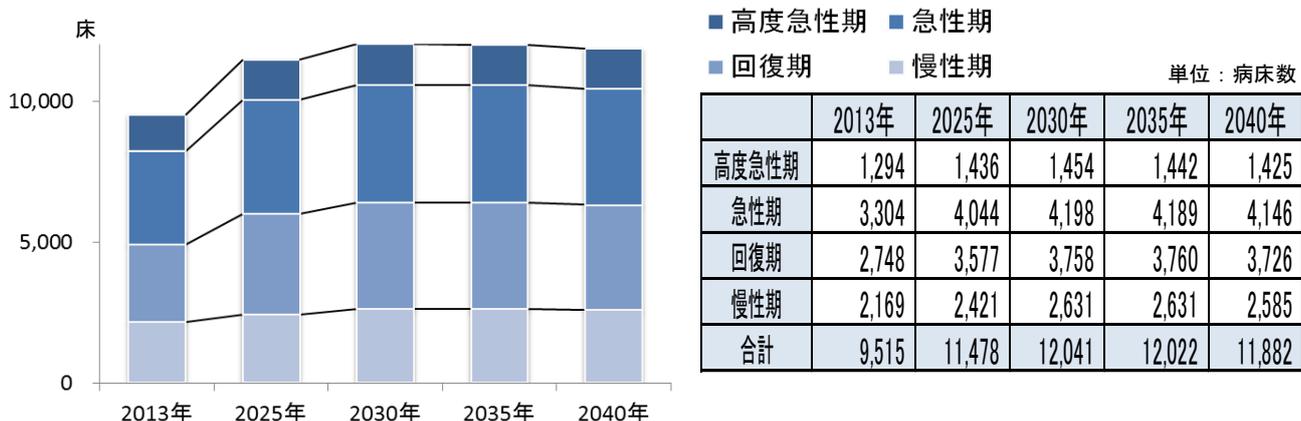


	2013年	2025年	2030年	2035年	2040年
高度急性期	970	1,077	1,090	1,081	1,069
急性期	2,577	3,154	3,275	3,267	3,234
回復期	2,473	3,219	3,382	3,384	3,354
慢性期	1,995	2,227	2,420	2,421	2,378
合計	8,015	9,677	10,167	10,153	10,035

## (2) 必要病床数の見込み

〇2025年の必要病床数は11,478床となり、2030年ごろまで増加することが見込まれています。その後、減少に転じますが、2040年においても2025年以上の必要病床数となることが予想されています。

図・表2 病床機能ごとの必要病床数の見込み



## (3) 病床機能報告の結果

〇2016年度の病床機能報告では、65施設、9,222床が報告対象であり、報告の結果、高度急性期が1,775床、急性期が3,990床、回復期が966床、慢性期2,057床となりました。また、医療機関の自主的な報告となっていますので、同じ入院基本料でも報告の仕方に差異が認められました。

図10 2016年度病床機能報告(入院基本料ごと\*の病床機能区分:割合)

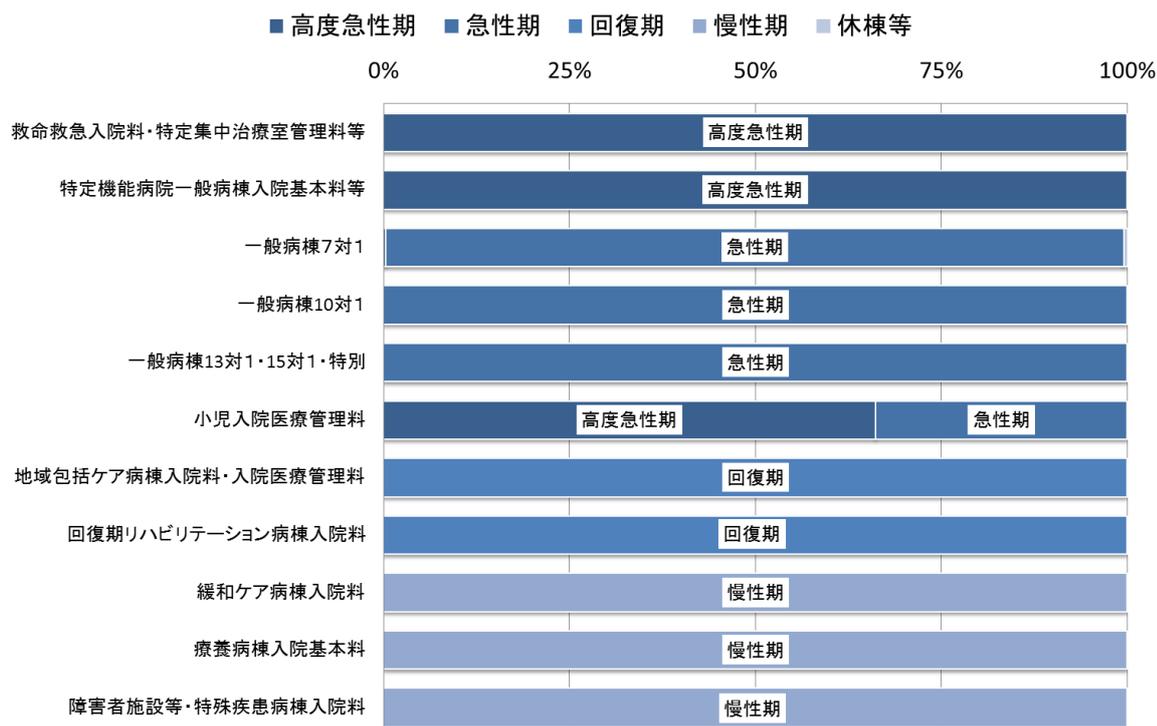
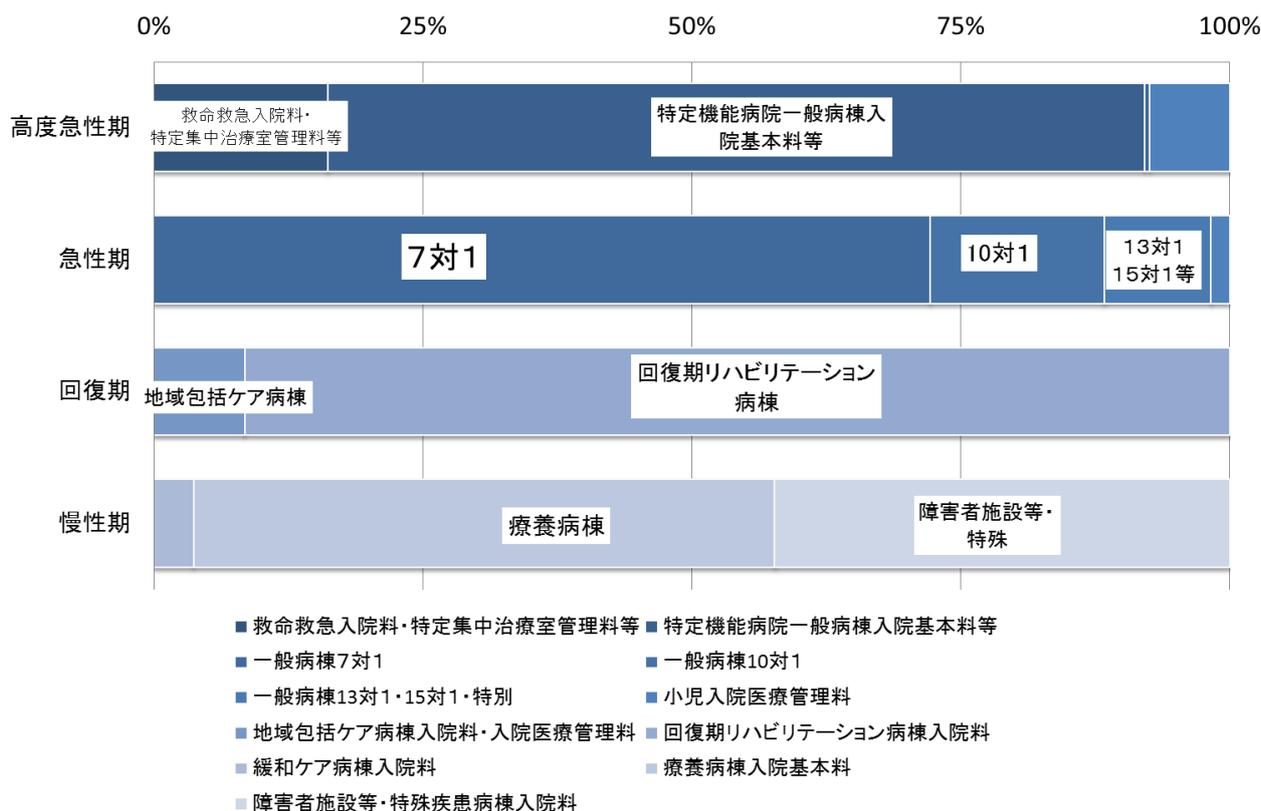


図11 2016年度病床機能報告(病床機能区分ごとの入院基本料※:割合)



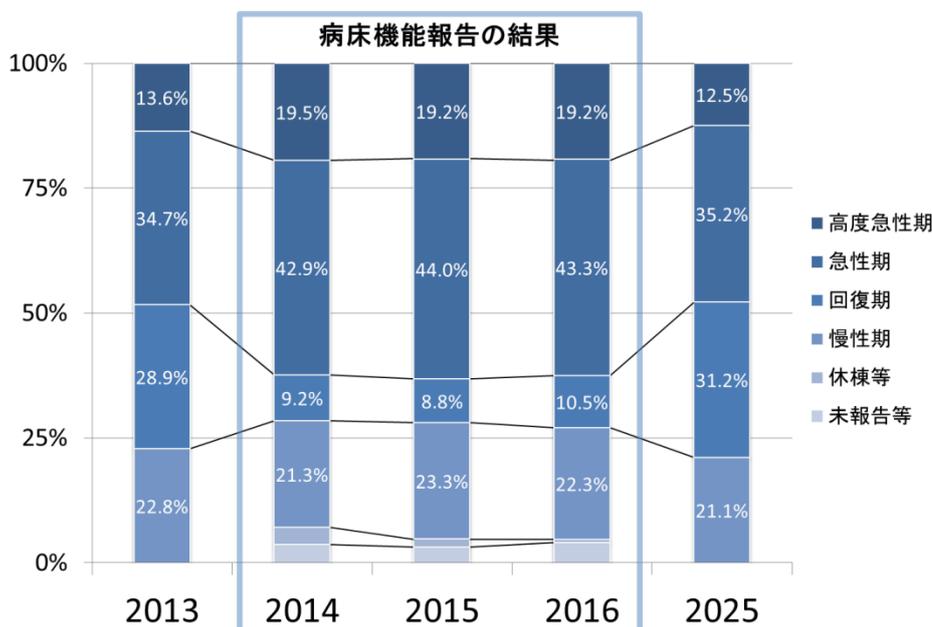
※入院基本料の区分は、(第4章「地域医療構想」P〇〇参照)

#### (4) 病床機能報告の推移と必要病床数

〇2025年に必要な病床機能を確保していくために、2025年必要病床数の機能区分ごとの割合(高度急性期 12.5%、急性期 35.2%、回復期 31.2%、慢性期 21.1%)を目安に、病床機能のあり方を検討していく必要があります。

図12 病床機能報告と必要病床数の病床機能区分ごとの比較(割合)

※入院基本料の区分は、(第4章「地域医療構想」P〇〇参照)



## 4. 在宅医療

### (主な現状と課題)

- ◆医療（介護）資源は圏域北部が不足しているため、圏域内の医療機関との連携はもとより、住民の生活圏を考慮した広域連携等により、安定した訪問診療体制の確保を行う必要があります。
- ◆入退院時における病院と関係機関との連携が不十分な地域があるため、医療と介護の連携について、圏域内市町での取組を情報交換する等により圏域全体の水準向上を図る必要があります。
- ◆24時間365日在宅医療を可能とするためには、在宅医療を担う医療関係者の確保、後方支援体制の構築等の課題を克服する必要があります。

### (1) 在宅医療等の需要の見込み

○在宅医療等の需要は、2030年頃をピークに今後増加することが予想されています。

うち訪問診療による在宅医療需要は、高齢化に伴う需要増に加え、地域医療構想の実現に向けた病床機能分化・連携に伴い生じる追加的 Need を含んでいます。

○訪問診療分の需要の伸び率は、2025年までに1.49から1.98となっており、需要への体制整備が課題です。

図13 在宅医療等の需要の見込み

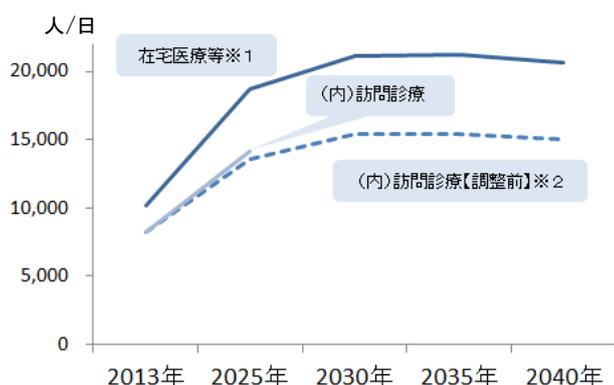


表2 訪問診療の需要見込み

単位：人/日

市町村名	2013年	2020年	2023年	2025年	2013～2025年の伸び率
豊中市	3,266	4,453	5,003	5,382	1.65
池田市	894	1,220	1,371	1,474	1.65
吹田市	2,685	3,788	4,294	4,642	1.73
箕面市	999	1,553	1,806	1,978	1.98
豊能町	226	337	385	418	1.85
能勢町	132	169	186	197	1.49
豊能	8,202	11,520	13,045	14,091	1.72
大阪府	65,964	93,987	107,132	116,113	1.76

数値は調整中

※1：2013年度の需要は、訪問診療分と2013年度の介護老人保健施設の月当りの施設サービス利用者数（大阪府高齢者計画2012の検証より）の総計を参考値として掲載しています。

※2：地域医療構想の実現に向けた病床機能分化・連携に伴い生じる追加的 Need による「訪問診療」分を追加する前の値となります。

## (2) 在宅医療提供体制

○「主な在宅医療資源の状況」は表3のとおりです。

表3 主な在宅医療資源の状況

	訪問診療を実施している 診療所	在宅療養支援診療所		再掲機能強化型		在宅療養支援病院		再掲機能強化型		在宅療養後方支援病院		
		(人口10万人対)										
豊中市	109	27.6	85	21.5	19	4.8	3	0.8	0	0	0	0
池田市	22	21.3	21	20.4	4	3.9	0	0	0	0	0	0
吹田市	56	15.0	57	15.2	10	2.7	1	0.3	0	0	2	0.5
箕面市	32	24.0	24	18.0	4	3.0	1	0.7	0	0	0	0
豊能町	6	30.1	3	15.0	1	5.0	0	0	0	0	0	0
能勢町	2	19.5	2	19.5	1	9.8	0	0	0	0	0	0
豊能	227	21.9	192	18.5	39	3.8	5	0.5	0	0	2	0.2
大阪府	1,990	22.5	1,859	21.0	332	3.8	110	1.2	46	0.5	33	0.4

	退院支援加算届出施設数	訪問診療を実施している 歯科診療所(居宅)		訪問診療を実施している 歯科診療所(施設)		在宅療養支援歯科診療所		在宅患者調剤加算の 届出薬局		訪問看護ステーション		再掲機能強化型		
		(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)	(人口10万人対)		
豊中市	14	3.5	39	9.9	30	7.6	44	11.1	73	18.5	43	10.9	0	0
池田市	3	2.9	7	6.8	12	11.6	9	8.7	9	8.7	12	11.6	1	1.0
吹田市	8	2.1	40	10.7	22	5.9	50	13.4	56	15.0	40	10.7	1	0.3
箕面市	3	2.2	14	10.5	11	8.2	15	11.2	14	10.5	12	9.0	0	0
豊能町	0	0	1	5.0	1	5.0	2	10.0	2	10.0	2	10.0	0	0
能勢町	0	0	1	9.8	0	0	0	0	1	9.8	0	0	0	0
豊能	28	2.7	102	9.8	76	7.3	120	11.6	155	15.0	109	10.5	2	0.2
大阪府	248	2.8	835	9.4	710	8.0	1,041	11.8	1,366	15.5	1,010	11.4	33	0.4

※「訪問診療を実施している診療所」は2014年10月現在、その他については2017年4月現在の状況

※「人口10万人対」算出に用いた人口は、総務省「国勢調査(2015年)」

### (3) 医療と介護の連携

#### 【豊中市】

○「虹ねっと連絡会」で医療と介護の連携について課題ごとにワーキンググループを立ち上げ取組んでいます。2017年3月策定の「豊中市地域医療推進基本方針」に基づき、かかりつけ医等の機能強化、急変時の対応、最期を迎える体制の強化を課題とし、医療機関、市民、行政が各々の役割を担い取組んでいます。

#### 【池田市】

○市立池田病院を中心に病院の登録医、医師会との連携体制整備に努めています。また、多職種が集まる研修会等の中でグループワークを通じて問題点を共有しています。今後、歯科医師会・薬剤師会等との一層の連携体制の構築が必要です。

#### 【吹田市】

○福祉部と健康医療部が役割分担・連携し、医療・介護関係者との協議により利用者情報提供書や退院支援のフロー図を作成し連携促進を図ると共に、需要に見合う在宅医療推進のため、急変時の受入体制等、病診・病病連携の促進等について医療提供主体で議論を重ねています。

#### 【箕面市】

○市内医療機関と地域包括支援センター、介護サービス事業所と情報交換連絡票を用いて切れ目のないサービス提供に努めていますが、活用実績が少ないため様式や運用方法の検討が必要です。多職種連携研修会を開催し「多職種連携による支援チーム」としての意識づけを行っています。

#### 【豊能町】

○退院時等、個々の対象者毎にカンファレンスを行い、顔の見える関係づくりに努めています。が、兵庫県に隣接しており府外への受診、入院も多いため、府内医療機関だけでなく、府外医療機関とのネットワーク構築に大阪府や近隣市町との連携が必要です。

#### 【能勢町】

○入院可能な施設が町内になく、隣接している府外の医療機関を利用することも多く、府内近隣の病院、町内医療機関及び在宅医療を支える医療・介護関係者の連携がとれる関係づくりに努めていますが、府外も含めた日常生活圏での連携が課題です。

## 第2項 豊能二次医療圏における今後の取組（方向性）

### （1）地域医療構想の推進（病床の機能分化・連携の推進）

#### 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・「大阪府豊能保健医療協議会」「豊能病床機能懇話会」等において、「新公立病院改革プラン」、「公的医療機関等2025プラン」を策定する病院を中心に、各医療機関が地域で担う役割を確認し、地域で必要な医療機能、連携方策を検討します。
- ・保健所が、保健所管内の病院関係者に対して、医療提供体制の現状と病床機能報告の結果から特に不足する病床機能を情報提供し検討する場を持ち、医療連携機能を強化するとともに自主的な取組を支援します。

### （2）在宅医療の充実

#### 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・圏域において安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅療養後方支援病院となるよう後方支援体制を整備するなどの取組を支援します。
- ・入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。（各種マニュアルの作成・見直しと周知、ICT導入など）
- ・関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。
- ・24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組を支援します。
- ・住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。

### （3）地域における課題への対策

#### 【がん】

#### 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会で、がんの専門医療提供体制の構築、地域医療連携、がん患者の就労支援等を行っていきます。

## 【脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病】

## 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・脳血管疾患については、国立循環器病研究センターが事務局となり開催されている地域連携パス会議で、地域連携診療計画の評価及び情報交換・共有を行っていきます。
- ・心血管疾患については、医療連携を検討する会議等で、慢性心不全を含めた急性期から維持期までの医療連携体制の課題を検討します。
- ・糖尿病については、医療連携を検討する会議等により、医科歯科連携、病診薬連携等、多職種連携による包括的なケア体制の構築を図ります。

## 【精神疾患】

## 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・身体・精神合併症患者の受入れ体制について、2015年度より開始された大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況と、ORION分析システムからみるデータとともに経過を確認していき、課題整理します。
- ・統合失調症、認知症、依存症など多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。

## 【救急医療、災害医療】

## 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・救急搬送及び搬送後の医療機関データを分析し、適正な救急医療体制に向けた課題抽出と分析及び評価をしていきます。
- ・市民へ救急の適正利用に関する啓発を行い、救急医療の負担軽減に努めます。
- ・救急告示病院と救命救急センターを中心としたバックアップ体制のもと、精神科疾患合併患者の受入れ促進の対応を検討します。
- ・BCP策定が未整備の病院に対し、立入検査等の機会策定の働きかけを行います。
- ・災害時に医療機関と行政等を調整する災害医療コーディネーターと地域災害医療本部長である保健所長とが効率的に連携できるよう役割を明確化し、連携を進めていきます。

## 【周産期医療、小児医療】

## 【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・医療的ケアが必要な児の在宅支援体制（訪問診療・訪問看護・レスパイト体制・相談支援事業所等）の充実を図ります。
- ・関係機関、医療機関との会議を継続的に実施し、連携強化とネットワークの構築をめざすとともに、関係機関と協力し虐待の早期発見にも取り組んでいきます。

○計画中間年（2020年度）以降、計画最終年（2023年度）までの取組については、計画中間年までの取組を踏まえ、検討し、実施していきます。

## 地域医療構想（将来のあるべき病床機能）

### （1）病床機能報告の結果

表〇 2016 年度病床機能報告（入院基本料ごとの病床機能区分：病床数）

入院料区分	医療機関数	病床数	病床機能区分（病床数）					合計
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
救命救急入院料・特定集中治療室管理料等	26	30	279	0	0	0	0	279
特定機能病院一般病棟入院基本料等	2	33	1,306	0	0	0	1	1,307
一般病棟7対1	12	59	9	2,731	0	0	13	2,753
一般病棟10対1	6	13	0	614	0	0	0	614
一般病棟13対1・15対1・特別	4	8	0	375	0	0	0	375
小児入院医療管理料	4	5	127	65	0	0	0	192
地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	2	2	0	0	81	0	0	81
回復期リハビリテーション病棟入院料	13	19	0	0	877	0	0	877
緩和ケア病棟入院料	2	3	0	0	0	76	0	76
療養病棟入院基本料	13	22	0	0	0	1,103	0	1,103
障害者施設等・特殊疾患病棟入院料	10	19	0	0	0	863	0	863
届出病床数 合計		213	1,721	3,785	958	2,042	14	8,520

表〇 2016 年度病床機能報告（入院基本料ごとの病床機能区分：割合）

入院料区分	病床機能区分（割合）					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
救命救急入院料・特定集中治療室管理料等	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
特定機能病院一般病棟入院基本料等	99.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	100%
一般病棟7対1	0.3%	99.2%	0.0%	0.0%	0.5%	100%
一般病棟10対1	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
一般病棟13対1・15対1・特別	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
小児入院医療管理料	66.1%	33.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%
回復期リハビリテーション病棟入院料	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%
緩和ケア病棟入院料	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	100%
療養病棟入院基本料	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	100%
障害者施設等・特殊疾患病棟入院料	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	100%

## （２）病床機能報告の推移と必要病床数

表〇 病床機能報告と必要病床数の病床機能区分ごとの比較（病床数）

区分	年度	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
必要病床数	2013	1,294	3,304	2,748	2,169			9,515
病床機能報告	2014	1,802	3,960	854	1,971	314	339	9,240
病床機能報告	2015	1,772	4,067	811	2,149	148	291	9,238
病床機能報告	2016	1,775	3,990	966	2,057	61	373	9,222
必要病床数	2025	1,436	4,044	3,577	2,421			11,478

表〇 病床機能報告と必要病床数の病床機能区分ごとの比較（割合）

区分	年度	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等
必要病床数	2013	13.6%	34.7%	28.9%	22.8%		
病床機能報告	2014	19.5%	42.9%	9.2%	21.3%	3.4%	3.7%
病床機能報告	2015	19.2%	44.0%	8.8%	23.3%	1.6%	3.2%
病床機能報告	2016	19.2%	43.3%	10.5%	22.3%	0.7%	4.0%
必要病床数	2025	12.5%	35.2%	31.2%	21.1%		



# 疾病・事業別の医療提供体制（医療機能表）

## （1）がん

表● がんの医療提供体制(病院)(2017年6月30日現在)

所在地	医療機関名	部位別がんの治療																	
		皮膚	脳	舌	咽頭	喉頭	肺	食道	胃	大腸	結腸	直腸	肝	胆道	膵臓	腎臓	膀胱	前立腺	
<b>がん診療拠点病院</b>																			
1	豊中市	独立行政法人国立病院機構 刀根山病院	手術							○									
			化学療法							○									
			放射線療法									○							
2	市立豊中病院	手術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		放射線療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	池田市	市立池田病院	手術	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			化学療法						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			放射線療法				○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	手術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		放射線療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	吹田市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	手術	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			化学療法			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			放射線療法									○							
6	大阪大学医学部附属病院	手術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		放射線療法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	市立吹田市民病院	手術							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学療法							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		放射線療法		○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	箕面市	箕面市立病院	手術	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			化学療法							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			放射線療法									○							
<b>がん診療拠点病院以外</b>																			
1	豊中市	医療法人善正会 上田病院	手術							○	○	○	○					○	
			化学療法							○	○	○	○	○	○				
			放射線療法									○							
2	大阪脳神経外科病院	手術		○															
		化学療法																	
		放射線療法										○							
3	関西メディカル病院	手術								○									
		化学療法								○									
		放射線療法										○							
4	医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院	手術								○	○	○	○	○	○	○			
		化学療法								○	○	○	○	○	○	○			
		放射線療法										○							
5	池田市	医療法人マックスール異病院	手術							○	○	○	○	○	○	○			
			化学療法							○	○	○	○	○	○	○			
			放射線療法									○							
6	医療法人互恵会池田回生病院	手術	○							○	○	○	○	○	○				
		化学療法								○	○	○	○	○	○				
		放射線療法										○							
7	吹田市	医療法人協和会協和会病院	手術							○	○	○	○						
			化学療法							○	○	○	○	○					
			放射線療法									○							
8	医療法人菊秀会 皐月病院	手術									○	○	○						
		化学療法								○	○	○	○						
		放射線療法										○							

子宮	卵巣	乳腺	甲状腺	副腎	白血病	リンパ組織	軟部組織	骨	小児	緩和ケアチーム	各種病床(床)			医療連携		住民への相談等		禁煙対策	
											ICU	HCU	緩和ケア	クリティカルパス	患者手帳等の活用	セカンドオピニオン	医療相談窓口	地域医療連携室	施設内全面禁煙
					-	-				○	4				○	○	○	○	
○	○	○	○	○	-	-			○	○	8	4		○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	-	○	○		○	2			○		○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	-				○	6			○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	-	-	○	○		○	12			○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	29	12		○	○	○	○	○	
○	○	○			-	-				○	2			○		○	○	○	○
○	○	○			-	-				○	4			○	○	○	○	○	○
	○				-	-								○		○	○	○	○
					-	-									○	○	○	○	
		○	○		-	-								○	○		○	○	
		○			-	-										○	○	○	
			○	○	-	-	○	○									○	○	○
		○	○		-	-										○	○	○	
					-	-								○		○	○	○	
					-	-								○		○	○	○	

	所在地	医療機関名	部位別がんの治療																	
			皮膚	脳	舌	咽頭	喉頭	肺	食道	胃	大腸	結腸	直腸	肝	胆道	膵臓	腎臓	膀胱	前立腺	
9		医療法人蒼龍会 井上病院	手術														○	○	○	
			化学療法								○	○	○	○				○	○	○
			放射線療法									-								
10		特定医療法人ダイワ会大和病院	手術																	
			化学療法		○															
			放射線療法									-								
11	吹田市	医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院	手術						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			化学療法			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			放射線療法	○	○							-								○
12		大阪大学歯学部附属病院	手術			○														
			化学療法			○														
			放射線療法			○						-								
13		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	手術		○															
			化学療法		○															
			放射線療法		○							-								
14	箕面市	医療法人啓明会 相原病院	手術																	
			化学療法																	
			放射線療法									-								
<b>病院合計</b>			手術	7	6	6	3	3	7	11	14	13	13	13	11	10	11	9	9	9
			化学療法	3	6	6	3	3	11	13	16	13	15	15	13	12	12	9	9	10
			放射線療法	4	6	4	4	4	6	5	6	-	5	6	6	6	6	6	6	6
<b>診療所合計</b>			手術	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
			化学療法	1	0	0	0	0	6	3	9	5	7	5	2	2	3	5	8	7
			放射線療法	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0

子宮	卵巣	乳腺	甲状腺	副腎	白血病	リンパ組織	軟部組織	骨	小児	緩和ケアチーム	各種病床(床)			医療連携		住民への相談等		禁煙対策		
											ICU	HCU	緩和ケア	クリティカルパス	患者手帳等の活用	セカンドオピニオン	医療相談窓口	地域医療連携室	施設内全面禁煙	禁煙外来
					-	-								○	○	○	○	○	○	
					-	-											○	○	○	○
			○		-	○											○	○	○	○
					-	-														
○		○			-	-											○	○	○	○
○	○	○	○		-		○	○				20	24			○	○	○	○	○
○	○	○			-															
					-	-										○		○	○	
					-	-														
					-	-										○		○	○	
					-	-														
					-	-														
					-	-														
		○			-	-										○			○	○
		○			-	-														
					-	-														
8	7	13	8	6	-	-	5	4												
8	8	13	8	-	7	6	5	4	2	8	97	66	24	12	7	15	19	21	21	10
5	4	6	3	-	4	4	3	5												
0	0	0	0	0	-	-	2	1												
1	2	8	4	-	3	4	1	2	2	6	-	-	-	6	1	13	3	3	32	5
0	0	0	0	-	0	0	0	0												

## （２）脳卒中等の脳血管疾患

表● 脳卒中の医療提供体制(病院)(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	各種病床(床)				医療(急性期治療)										リハ	医療連携	
			ICU (急性期治療)	HCU (急性期治療)	SCU (急性期治療)	回復期 リハビリテーション	頭蓋内血腫除去術	脳動脈瘤根治術	脳血管内手術	脳動脈瘤コイル塞栓術	頸動脈ステント留置術	経皮的脳血栓回収術	経皮的選択的脳血栓・ 塞栓溶解術	t・PA静注療法	頸部動脈血栓内剥離術	リハビリテーション		クリティカルパス	患者手帳等の活用
1	豊中市	医療法人若葉会 豊中若葉会病院															○		○
2		医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院				144											○	○	○
3		独立行政法人国立病院機構 刀根山病院															○		○
4		市立豊中病院	8	4			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
5		医療法人康生会 平成記念病院															○		○
6		医療法人篤友会 坂本病院分院															○		
7		医療法人善正会 上田病院															○		○
8		大阪脳神経外科病院			10	32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		社会医療法人北斗会 さわ病院															○		
10		医療法人協和会 千里中央病院				100											○	○	○
11		医療法人康生会 豊中平成病院															○	○	○
12		医療法人篤友会 坂本病院															○	○	○
13		関西メディカル病院				45											○	○	○
14		医療法人篤友会 千里山病院															○		○
15	池田市	医療法人マックスール巽病院															○	○	
16		医療法人互恵会池田回生病院															○	○	
17		市立池田病院															○	○	
18	吹田市	医療法人協和会協和会病院				86											○	○	
19		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	6				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20		医療法人甲聖会甲聖会記念病院															○		○
21		医療法人蒼龍会 井上病院															○		○
22		特定医療法人ダイワ会大和病院											○	○			○		○
23		医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院		20			○	○	○				○	○	○	○			○
24		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	12				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25		大阪大学歯学部附属病院															○		○
26		大阪大学医学部附属病院	29	12			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27		大阪市立弘済院附属病院															○		○
28		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	34	26	21		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29		医療法人 京優会 平海病院															○		○
30		市立吹田市民病院	2				○							○			○	○	○

	所在地	医療機関名	各種病床(床)				医療(急性期治療)										リハ	医療連携		
			ICU (急性期治療)	HCU (急性期治療)	SCU (急性期治療)	回復期 リハビリテーション	頭蓋内血腫除去術	脳動脈瘤根治術	脳血管内手術	脳動脈瘤コイル塞栓術	頸動脈ステント留置術	経皮的脳血栓回収術	経皮的選択的脳血栓・ 塞栓溶解術	t・PA静注療法	頸部動脈血栓内剥離術	リハビリテーション		クリティカルパス	患者手帳等の活用	地域医療連携室
31	箕面市	医療法人社団生和会 彩都リハビリテーション病院				120												○	○	○
32		医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院				172												○	○	○
33		医療法人マックスール巽今宮病院				40												○	○	○
34		医療法人 清順堂 ためなが温泉病院																○		○
35		箕面市立病院		4		50	○											○	○	○
36		医療法人ガラシア会ガラシア病院				21												○	○	○
37		北大阪医療生活協同組合照葉の里箕面病院																○	○	○
病院合計			91	66	31	810	9	6	7	5	5	6	8	9	6	37	20	12	35	

### （３）急性心筋梗塞等の心血管疾患

表● 心疾患の医療提供体制(病院)(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	各種病床(床)			医療(急性期治療)				医療リハ	医療連携			
			I C U (急性期治療)	H C U (急性期治療)	C C U (急性期治療)	P T C A	冠 動 脈 ス テ ン ト 留 置 術	心 臓 カ テ ー テ ル 法 に よ る 血 管 内 超 音 波 検 査	冠 動 脈 バ イ パ ス 術	ペ ー ス メ ー カ ー 移 植 術	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	ク リ テ ィ カ ル パ ス	患 者 手 帳 等 の 活 用	地 域 医 療 連 携 室
1	豊中市	市立豊中病院	8	4	3	○	○		○	○	○		○	
2		医療法人篤友会 千里山病院								○			○	
3		医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院							○				○	
4	池田市	医療法人マックスール巽病院				○	○		○				○	
5		市立池田病院	2			○	○	○	○	○			○	
6	吹田市	医療法人協和会協和会病院							○				○	
7		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	6		1	○	○	○	○	○	○	○	○	
8		特定医療法人ダイワ会大和病院							○				○	
9		医療法人沖縄徳洲会 吹田徳洲会病院		20		○	○	○	○	○			○	
10		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	12			○	○	○	○	○	○	○	○	
11		大阪大学医学部附属病院	29	12		○	○	○	○	○	○	○	○	
12		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	34	26	8	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	市立吹田市民病院	2				○	○		○			○		
14	箕面市	箕面市立病院		4		○	○	○	○	○			○	
15		医療法人ガラシア会ガラシア病院							○				○	
<b>病院合計</b>			<b>93</b>	<b>66</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>14</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>15</b>

## （４）糖尿病

表● 糖尿病の医療提供体制(病院)(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	医療										指導		重症化予防				医療連携						
			インスリン療法	GLP-1R作用薬注射	注射薬の外来での導入	大血管症スクリーニング	網膜光凝固術	硝子体手術	腹膜透析	血液透析	夜間透析	生体腎移植	自己注射指導管理	自己腹膜灌流指導管理	血液透析指導管理	糖尿病患者教育	運動療法（入院）	食事療法（入院）	運動療法（外来）	食事療法（外来）	クリティカルパス	患者手帳等の活用	地域医療連携室		
1	豊中市	医療法人若葉会 豊中若葉会病院	○									○			○									○	
2		独立行政法人国立病院機構 刀根山病院	○												○										○
3		市立豊中病院	○	○	○	○	○					○	○		○		○		○	○	○				○
4		医療法人曾根会 曾根病院	○		○										○				○		○				○
5		医療法人藏春堂 小西病院	○												○										○
6		医療法人康生会 平成記念病院	○												○			○	○	○	○				○
7		医療法人豊済会 小曾根病院													○										
8		医療法人善正会 上田病院	○												○								○		○
9		社会医療法人北斗会 さわ病院	○												○										
10		医療法人協和会 千里中央病院																							○
11		医療法人康生会 豊中平成病院	○		○										○				○	○	○				○
12		医療法人篤友会 坂本病院													○										○
13		関西メディカル病院	○				○	○							○								○	○	○
14		医療法人篤友会 千里山病院	○	○	○										○							○	○	○	○
15		医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院	○												○										○
16	池田市	医療法人マックスール巽病院	○											○										○	
17		医療法人互惠会池田回生病院	○	○	○	○								○										○	
18		市立池田病院	○	○	○	○	○							○								○	○		○
19	吹田市	医療法人協和会協和会病院	○	○	○	○								○										○	
20		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	○	○	○	○	○	○	○					○	○							○	○	○	○
21		医療法人菊秀会 皐月病院	○												○										○
22		医療法人甲聖会甲聖会記念病院	○												○										○
23		医療法人蒼龍会 井上病院	○	○	○		○	○	○	○	○				○	○	○					○			○
24		特定医療法人ダイワ会大和病院	○				○								○										○
25		医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院	○	○	○	○	○	○							○										○
26		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	○	○	○	○									○								○	○	○
27		大阪大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○									○
28		大阪市立弘済院附属病院	○			○									○										○
29		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	○	○	○	○									○								○		○
30		医療法人 京優会 平海病院	○		○										○										○
31	市立吹田市民病院	○		○		○	○	○	○					○	○	○								○	
32	箕面市	医療法人マックスール巽今宮病院	○											○										○	
33		医療法人 清順堂 ためなが温泉病院	○												○									○	

	所在地	医療機関名	医療										指導		重症化予防					医療連携			
			インスリン療法	GLP-1R作動薬注射	注射薬の外来での導入	大血管症スクリーニング	網膜光凝固術	硝子体手術	腹膜透析	血液透析	夜間透析	生体腎移植	自己注射指導管理	自己腹膜灌流指導管理	血液透析指導管理	糖尿病患者教育	運動療法（入院）	食事療法（入院）	運動療法（外来）	食事療法（外来）	クリティカルパス	患者手帳等の活用	地域医療連携室
34	箕面市	箕面市立病院	○	○	○		○				○				○				○	○	○	○	
35		医療法人ガラシア会ガラシア病院	○									○			○							○	
36		北大阪医療生活協同組合照葉の里箕面病院	○									○			○	○	○		○				○
<b>病院合計</b>			33	12	17	9	10	6	8	16	3	2	35	5	2	33	11	19	4	21	10	8	34
<b>診療所合計</b>			183	40	50	12	32	4	5	12	5	0	150	4	1	155	0	1	1	9	73	45	11

## （５）精神疾患

表● 精神疾患の医療提供体制（府拠点）（2017年11月17日現在）

	所在地	医療機関名	統合失調症①	統合失調症②	認知症①	認知症②	児童・思春期	うつ	PTSD	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	高次脳	摂食	災害	成人発達	妊産婦	
1	豊中市	医療法人豊済会 小曽根病院	○																
2		社会医療法人北斗会 さわ病院	○	○	○			○								○			
3	吹田市	大阪大学医学部附属病院	○	○	○	○		○							○		○		
4		大阪市立弘済院附属病院			○														
医療機関合計			3	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	

表● 精神疾患の医療提供体制（地域拠点）（2017年11月17日現在）

	所在地	医療機関名	統合失調症	認知症	児童・思春期	うつ	PTSD	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	高次脳①	高次脳②	高次脳③	高次脳④	高次脳⑤	摂食	災害	成人発達	妊産婦		
1	豊中市	市立豊中病院		○																		
2		医療法人豊済会 小曽根病院	○	○		○														○		
3		社会医療法人北斗会 さわ病院	○	○																○		
4		黒川内科																		○		
5		杉山クリニック	○									○										
6		藤田クリニック	○		○							○									○	○
7		赤垣メンタルクリニック			○																○	○
8		西側こころクリニック		○																		
9		和クリニック		○																		
10	池田市	大久保クリニック	○		○															○	○	
11		医療法人如月会 楠杜クリニック	○		○																	
12	吹田市	医療法人松柏会榎坂病院	○	○								○		○	○	○	○	○	○	○	○	
13		大阪大学医学部附属病院	○	○	○						○									○	○	
14		大阪市立弘済院附属病院		○																		
15		市立吹田市民病院										○										
16		医療法人小憩会 さわらび診療所	○									○									○	○
17		医療法人青樹会 小寺クリニック			○																○	
18		坂元クリニック	○									○									○	○
19		ひろたクリニック	○																			○
20		角谷クリニック	○														○					
21		箕面市	箕面神経サナトリウム	○	○							○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
22	医療法人 清順堂 ためなが温泉病院		○	○																		
23	箕面市立病院			○																		○
医療機関合計			14	11	6	1	0	0	0	0	7	1	2	0	2	3	4	6	8	9		

## （6）救急医療

表● 初期救急医療提供体制(2017年11月現在)

	所在地	医療機関名	診療科目	診療受付時間	
1	豊中市	一般財団法人豊中市医療保健センター診療所	内科	休日	9時30分～16時30分
			小児科	休日	9時30分～16時30分
			歯科	休日	9時30分～16時30分
2	豊中市立庄内保健センター		内科	休日	9時30分～16時30分
			小児科	休日	9時30分～16時30分
			歯科	休日	9時30分～16時30分
3	池田市	池田市立休日急病診療所	内科	休日	8時30分～11時30分 13時00分～15時30分
			小児科	休日	8時30分～11時30分 13時00分～15時30分
			歯科	休日	8時30分～11時30分 13時00分～15時30分
4	吹田市	吹田市立休日急病診療所	内科	休日	9時30分～11時30分 13時00分～16時30分
			小児科	休日	9時30分～11時30分 13時00分～16時30分
			外科	休日	9時30分～11時30分 13時00分～16時30分
			歯科	休日	9時30分～11時30分 13時00分～16時30分
5	大阪大学歯学部附属病院	歯科口腔外科	平日	17時15分～翌8時30分	
			土曜	全日	
			休日	全日	
6	箕面市	豊能広域こども急病センター	小児科	平日	18時30分～翌6時30分
				土曜	14時30分～翌6時30分
				休日	8時30分～翌6時30分
7	箕面市立病院		内科	休日	9時30分～16時30分
			歯科	休日	9時30分～16時30分

表● 二次救急医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	診療科目	
			固定・通年制	輪番制・非通年制
1	豊中市	医療法人若葉会 豊中若葉会病院	内 整	
2		市立豊中病院	内 外	小(火・水・金・日)
3		医療法人藏春堂 小西病院	外	
4		医療法人豊済会 小曽根病院		精
5		医療法人善正会 上田病院	内 外	整(月～金)
6		大阪脳神経外科病院	脳外	
7		社会医療法人北斗会 さわ病院		精
8		関西メディカル病院	内 外 整	
9		医療法人篤友会 千里山病院		内(月～金)
10		医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院	消内 消外	
11	池田市	医療法人マックシール翼病院	内 整	
12		医療法人互惠会池田回生病院	内 外	
13		市立池田病院	内 外	小(金・日)
14	吹田市	医療法人協和会協和会病院		内(月・火・金) 整(水・木)
15		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	内 循 外 脳外 整 産婦	小(木、日<第2・4>)
16		医療法人蒼龍会 井上病院		外(木) 整(木)
17		特定医療法人ダイワ会大和病院	内	
18		医療法人松柏会榎坂病院		精
19		医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院	内 循 消内 外 心外	脳外(月・木)
20		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	内 外	
21		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	循 神内 産	
22		医療法人 京優会 平海病院		内(木)
23		市立吹田市民病院	内 外 脳外 整	小(月・火・水・土)
24	箕面市	箕面市立病院	内 外	小(月・木・金・土)

表● 三次救急医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	区分
1	吹田市	大阪大学医学部附属病院	高
2		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	

## （７）災害医療

表● 災害医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	災害時対応等		
			BCP策定済	災害マニュアル策定済	災害訓練参加 (見学を含む)
<b>災害拠点病院</b>					
1	吹田市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院		○	○
2		大阪大学医学部附属病院		○	
<b>災害拠点病院以外</b>					
1	豊中市	医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院		○	
2		医療法人曾根会 曾根病院		○	
3		医療法人豊済会 小曾根病院			○
4		医療法人善正会 上田病院		○	○
5		関西メディカル病院	○	○	○
6		医療法人篤友会 千里山病院		○	○
7		医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院			○
8	池田市	医療法人マックスール巽病院		○	
9		市立池田病院		○	○
10	吹田市	医療法人協和会協和会病院		○	○
11		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	○	○	○
12		医療法人菊秀会 皐月病院		○	
13		医療法人甲聖会甲聖会記念病院		○	
14		医療法人蒼龍会 井上病院		○	○
15		特定医療法人ダイワ会大和病院		○	
16		医療法人松柏会榎坂病院			○
17		医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院		○	○
18		大阪市立弘済院附属病院		○	
19		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	○	○	
20		市立吹田市民病院		○	○
21	箕面市	医療法人仁誠会箕面正井病院		○	
22		医療法人社団生和会 彩都リハビリテーション病院		○	
23		箕面神経サナトリウム	○	○	
24		医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院		○	
25		箕面市立病院		○	○
26		医療法人ガラシア会ガラシア病院		○	
27		北大阪医療生活協同組合照葉の里箕面病院		○	
28		医療法人啓明会 相原病院		○	
<b>病院合計</b>			4	27	14

## （８）周産期医療

表● 周産期医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	各種病床(床)				医療		医療連携							設備			
			産科	M F I C U	N I C U	G C U	正常分娩	選択帝王切開術	緊急帝王切開術	オープンシステム導入	連携医療機関(病院)	連携医療機関(診療所)	セミオープンシステム導入	連携医療機関(診療所)	連携医療機関(診療所)	O G C S 参加	N M C S 参加	助産師外来	院内助産所
<b>総合周産期母子医療センター</b>																			
1	吹田市	大阪大学医学部附属病院	14	6	9	18	○	○	○							○	○		
<b>地域周産期母子医療センター</b>																			
1	豊中市	市立豊中病院	32		6	10	○	○	○							○	○	○	
2	吹田市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	35*		6	14	○	○	○							○	○	○	
3		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	39		6		○	○	○							○	○		
<b>周産期母子医療センター以外</b>																			
1	池田市	市立池田病院	12				○	○	○									○	
2	吹田市	医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院	28*				○	○	○							○	○	○	
3		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	28				○	○	○							○			
4		市立吹田市民病院	23*				○	○	○									○	
5	箕面市	箕面市立病院	10				○	○	○							○		○	
<b>病院合計</b>			221	6	27	42	9	9	9	0	-	-	0	-	-	7	5	6	1
<b>診療所合計</b>			102	-	-	-	8	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0

※のついている病院は、婦人科等を含む病床数

## （９）小児医療

表● 小児医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	病床(床)
			小児科
1	豊中市	市立豊中病院	28
2	池田市	市立池田病院	10
3	吹田市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	53
4		大阪大学医学部附属病院	88
5		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	49
6		市立吹田市民病院	22
<b>病院合計</b>			250

※小児初期・二次救急医療提供体制については、  
救急医療体制を参照

## (10) 在宅医療

表● 在宅医療提供体制(2017年6月30日現在)

	所在地	医療機関名	地域医療支援病院	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	医療				医療連携				
						在宅患者訪問診療	在宅時医学総合管理	医療保険による訪問看護	在宅ターミナルケア対応	病院	訪問看護ステーション	薬局	診療所	居宅介護支援事業所
1	豊中市	医療法人若葉会 豊中若葉会病院								○	○	○	○	○
2		医療法人真正会 真正会病院				○	○			○				
3		独立行政法人国立病院機構 刀根山病院							○	○	○	○	○	○
4		市立豊中病院	○					○		○	○	○	○	○
5		医療法人藏春堂 小西病院		○		○	○			○	○	○	○	○
6		医療法人康生会 平成記念病院		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
7		医療法人豊済会 小菅根病院				○								
8		医療法人篤友会 坂本病院分院							○					
9		医療法人善正会 上田病院				○	○	○		○	○		○	○
10		社会医療法人北斗会 さわ病院				○		○		○	○		○	○
11		医療法人協和会 千里中央病院									○	○		○
12		医療法人康生会 豊中平成病院		○			○	○	○	○	○	○	○	○
13		医療法人篤友会 坂本病院								○	○	○	○	○
14		関西メディカル病院							○	○	○	○	○	○
15		医療法人篤友会 千里山病院								○	○	○	○	○
16		医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院								○	○	○	○	○
17	池田市	医療法人互恵会池田回生病院				○								
18		市立池田病院	○							○	○	○	○	○
19	吹田市	医療法人協和会協和会病院								○	○	○	○	○
20		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	○						○	○	○	○	○	○
21		医療法人菊秀会 皐月病院				○				○	○	○	○	○
22		医療法人甲聖会甲聖会記念病院				○								
23		医療法人蒼龍会 井上病院								○	○	○	○	○
24		特定医療法人ダイワ会大和病院				○				○	○	○	○	○
25		医療法人松柏会榎坂病院						○			○		○	○
26		医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院			○					○	○		○	○
27		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院	○		○					○	○	○	○	○
28		大阪大学医学部附属病院								○	○	○	○	○
29		大阪市立弘済院附属病院								○	○	○	○	○
30		国立研究開発法人 国立循環器病研究センター								○	○		○	
31		医療法人 京優会 平海病院		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
32		市立吹田市民病院								○	○	○	○	○

	所在地	医療機関名	地域医療支援病院	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	医療				医療連携				
						在宅患者訪問診療	在宅時医学総合管理	医療保険による訪問看護	在宅ターミナルケア対応	病院	訪問看護ステーション	薬局	診療所	居宅介護支援事業所
33	箕面市	箕面神経サナトリウム						○		○				
34		医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院								○	○		○	○
35		医療法人 清順堂 ためなが温泉病院						○		○	○	○	○	○
36		箕面市立病院	○							○	○	○	○	○
37		医療法人ガラシア会ガラシア病院		○		○			○	○	○		○	○
38		北大阪医療生活協同組合照葉の里箕面病院				○	○			○	○		○	○
<b>病院合計</b>			5	5	2	13	7	10	7	33	32	24	31	31
<b>診療所合計</b>			—	—	—	246	165	77	110	318	233	183	171	146

# 第 7 次大阪府保健医療計画（圏域編）（案）

## 補足資料

## 第1項 豊能二次医療圏内の医療体制の現状と課題（補足）

※豊能圏域編と共通の項目番号・項目名にして、補足を記載しています。

### 2. 疾病・事業別の医療体制と受療状況（圏域編 P4～7参照）

#### （1）医療体制

##### 【がん】

○地域がん診療連携拠点病院である大阪大学医学部附属病院や市立豊中病院を中心にした病院間連携により、がん治療の環境は充実してきていますが、がん検診受診率が目標値を下回っており、早期受診できるよう住民の意識を高める働きかけが必要です。

○がんの専門医療提供体制（緩和ケア病院・化学療法専門外来・在宅医療体制等）に関する医療機関相互の情報共有が課題です。

##### 【脳卒中等の脳血管疾患】

○国立循環器病研究センターを中心に、急性期から回復期（リハビリ医療）への医療機関連携が図られていますが、回復期、維持期、急性期への循環型の連携が不十分です。今後、脳梗塞が増加すること等を考慮すると、長期入院の問題、在宅療養の受け皿等についても検討すべき課題があります。

○国立循環器病研究センターの移転に伴う患者の受療パターンの変化を見据えて、圏域内の医療機関の役割分担・連携が大きな課題です。（心血管疾患も同様です）

##### 【心筋梗塞等の心血管疾患】

○急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスの運用が圏域内の急性期病院に広がらない現状があり、今後の慢性心不全患者の増加を踏まえると、急性期病院と地域診療所等、在宅医療（介護）関係者との連携が課題です。

##### 【糖尿病】

○高齢者、認知症患者の増加を踏まえると、自己管理型ノート形式の医療連携パスを用いた医療連携では困難な場合が想定されます。（脳血管疾患、心血管疾患も同様です）

##### 【精神疾患】

○人口10万対の精神科病床数は、府平均を下回っています。（府域編 P26参照）

○精神疾患入院患者の圏域内での自己完結率は65.9%と、流入超過となっています。

○精神科医療機関と保健福祉関係機関との連携が不十分であり、長期入院患者の地域移行、依存症、虐待ケース等への医療的対応に課題があります。

○精神科病院での身体疾患合併症患者への対応が十分とはいえない状況があります。

○認知症患者の増加が見込まれていますが、医療機関での早期診断から退院後の対応に至るまでの医療提供体制の構築が大きな課題です。

#### 【救急医療】

○救急現場において、精神・身体疾患合併症患者への対応に時間を要する傾向があります。（特定病態別・覚知現発平均時間 精神疾患 34.4 分、自損 37.1 分（総計 23.6 分）（豊中市保健所の調べ）

○救急搬送件数は年々増加傾向にありますが、軽症患者への対応や、単身高齢者や認知症患者の急性期治療後の転院・退院調整が困難であり、二次救急医療機関の負担を増大させています。

○ORION入力情報の精度が不十分なため、評価・検証に十分活用できていません。

#### 【災害医療】

○災害拠点病院が 2 箇所あり（大阪大学医学部附属病院、済生会千里病院）、後方支援という視点から一定の水準には達していますが、圏域内の病院でのBCP（事業継続計画）整備状況は、47病院中4病院と、未整備が多い状況です。行政と医療機関との災害時連携体制の構築においても十分と言える状況ではありません。

#### 【周産期医療】

○圏域では産科病床数は減少傾向ですが、将来的に分娩数の更なる減少が見込まれ、産科医療における安全の確保のためには設備の高度化が求められることや、産科医師の確保の問題等を考慮すると、産科医療機関の集約化が課題です。

#### 【小児医療】

○小児医療の進歩により、成人に達した後の医療の連続性が課題です。

### 3. 地域医療構想（将来のあるべき病床機能）（圏域編 P8～10参照）

○病床機能報告数と必要病床数の比較では病床数は不足することから、病床機能懇話会等において、病院間の医療機能連携強化の視点から検討を進めていきます。

○地域医療構想の推進については、地域の医療機関間で将来の病床機能分化・連携のあり方を共有し、望ましい方向に進めることとされています。豊能医療圏においても保健所管轄区域ごとに各病院の院長が情報共有・意見交換を行っていますが、今後も支援が必要です。

### 4. 在宅医療（圏域編 P11～13参照）

#### （1）在宅医療等の需要の見込み

○在宅医療需要（施設入所を含む）の増加が予測されますが、在宅医療の需要は介護との棲み分けもあり、適切なサービス提供のために適宜見直しをすることが必要です。

## (2) 在宅医療提供体制

- 在宅医療を行う医療機関をサポートする医療機関が少ない状況です。
- 在宅医療を行う医療機関は不足しています。その理由は、24時間365日の対応が困難であること、在宅医が専門外の対応が必要となった場合に連携機関がないこと、急変時の受け皿となる後方支援病院が絶対的に不足していることなどがあげられます。
- 在宅医療を専門に行っている医療機関と行政や医師会・歯科医師会・薬剤師会等との間では必ずしも連携が十分であるとはいえないという課題があります。
- 在宅医療を支える大きな資源として、訪問看護ステーションの役割が期待されますが、現状では小規模で活動時間帯や活動範囲に制約のある等の課題があります。

## 第2項 豊能二次医療圏における今後の取組（方向性）

（圏域編 P14・15 参照）

### (1) 地域医療構想の推進（病床の機能分化・連携の推進）

- 医療機関同士が病床機能のあり方を検討し、自主的な取組みを進める基本方針のもと、各病院の院長が集まり情報共有・意見交換が出来る環境づくりを支援し、地域医療構想の推進に向けた検討を進めます。
- 医療機関の医療機能の連携について検討する重要性については、関係者間で認識が共有されていることから、まずはそのような視点から検討を継続します。
- 住民が適切な受診行動をとることが将来的に医療提供体制を確保し、安心安全な医療を受けられることを、保健所、関係機関が住民向けに啓発することを検討します。

### (2) 在宅医療の充実

- 24時間365日の在宅医療を確保するために、複数の在宅医療機関（診療所、薬局）のグループ化、急変時の受け皿となる病院（在宅療養後方支援病院）の確保等について、様々な機会を通して関係者間で検討を進めます。
- 在宅医療を専門に行っている医療機関と行政や医師会・歯科医師会・薬剤師会等との間で現状認識を共有し、今後に向けて情報の共有化・具体的な方策の検討など相互連携を進めます。
- 訪問看護ステーションの重要性について認識を深め、病院の看護師が実務体験を含めた研修を受けるなどの取組みについて、関係者間で検討を進めます。

### (3) 地域における課題に対する対策

#### 【がん】

- 豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会の場を活用して、圏域内におけるがんの専門医療提供体制に関する情報の把握や共有を医療機関相互で確実にを行い、がん診療のレベルをいっそう高めていきます。
- 早期のがん治療体制が充実するよう、がん検診受診率が向上するよう市町等と連携し啓発に取組みます。

### 【脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病】

○脳梗塞や慢性心不全の患者が増加することを踏まえ、慢性期における長期入院問題、在宅療養の受け皿等について、関係者が集まる協議の場において医療機関相互の役割分担・連携の問題として検討を進めます。

○自己管理型ノート形式の地域医療連携パスを用いた医療機関連携の在り方について、検討を進めます。

### 【精神疾患】

○多様な精神疾患への円滑な対応のために精神科医療機関と保健福祉関係機関との連携を進めます。

○精神科病院・一般病院のそれぞれにおける精神・身体疾患合併症患者への対応を支援するための方策について、公的医療機関を中心に検討を進めます。

○認知症については、精神科疾患の位置づけではなく一般診療科においても対応できる医療体制が必要であり、認知症疾患医療センターや医療機関、急性期病院から在宅につなぐ医療連携、医療と介護の連携ができるよう、市町の会議等での検討を支援します。

### 【救急、災害】

○医療機関と行政が協働した訓練を継続実施し、災害に備えた圏域全体としての災害時医療体制を整備します。

○災害時に医療機関と行政等を調整する災害医療コーディネーターと地域災害医療本部長である保健所長とが効率的に連携できるよう役割を明確化します。

○救急懇話会等においてORIONの活用について医療機関と消防部局による検討を進めます。

### 【小児、周産期】

○将来の分娩の減少に対応し、産科医療の質の向上と医師の確保のために産科医療機関の集約化を検討します。

## その他の医療体制の課題と取組

### 【感染症医療（結核）】

○大阪府における結核治療の中心的医療機関である刀根山病院が、結核病床の廃止をはじめとする大幅な機能縮小を計画していますが、豊能医療圏には刀根山病院の役割を肩代わりできる医療機関がないため、一定の機能の存続が望まれます。

今後は、刀根山病院に全て依存するのではなく、一般医療機関においても軽症の結核患者であれば診療が出来るよう、機能の整備を図る必要があります。

【医科歯科連携】

○高齢者では咀嚼嚥下機能の低下により、栄養不足、誤嚥性肺炎等が起きるため、入院・在宅を問わず、医科歯科連携による改善策が求められています。

一部の医療機関において試行されている、医科歯科連携の取り組みについて効果の検証を進めるとともに、圏域全体に広める方策を検討します。

平成 29 年(2017 年)12 月 26 日(火)  
医療審議会資料  
福祉部高齢福祉室

## 第 7 期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 (第 7 期 吹田健やか年輪プラン) について

- 1 計画の位置付け  
老人福祉法第 20 条の 8 に規定する「老人福祉計画」及び介護保険法第 117 条第 1 項に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定。
- 2 計画の期間  
平成 30 年(2018 年度)～平成 32 年度(2020 年度)の 3 年間
- 3 策定体制  
・高齢者保健福祉施策・介護保険事業推進本部会議、同幹事会及び同作業部会(庁内組織)  
・吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会(諮問機関)
- 4 将来像、基本目標について  
団塊の世代がすべて 75 歳以上となる平成 37 年(2025 年)、更に団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる平成 52 年(2040 年)を見据え、「住み慣れた地域で自分らしく健やかに安心・安全に暮らせるまち ～ずっとすいたで、ずっと元気に～」を本市の将来像としながら、地域包括ケアシステムの構築に段階的に取り組みます。
- 5 施策について  
施策 1 生きがいづくりと社会参加の促進  
施策 2 地域支援体制等の充実  
施策 3 介護保険制度の安定的運営
- 6 基本目標について  
基本目標 1 生きがいづくりと健やかな暮らしの充実  
基本目標 2 相談支援体制の充実  
基本目標 3 介護予防の推進  
基本目標 4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実  
基本目標 5 認知症支援の推進  
基本目標 6 在宅医療と介護の連携の推進  
基本目標 7 安心・安全な暮らしの充実  
基本目標 8 介護保険サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営
- 7 第 1 号被保険者(65 歳以上)の介護保険料について  
介護保険給付費の見込額(平成 30～32 年度の 3 年間) 841 億円  
(第 6 期計画値 728 億円)  
第 7 期の保険料基準額(月額)の見込み額 約 6,600 円  
(第 6 期 5,390 円)

### 8 今後の主なスケジュールについて

平成 29 年(2017 年)12 月 4 日 ～平成 30 年(2018 年)1 月 4 日	パブリックコメント
平成 30 年(2018 年)1 月 19 日	第 4 回吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
平成 30 年(2018 年)2 月 2 日	第 5 回吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会(答申)

9 参考

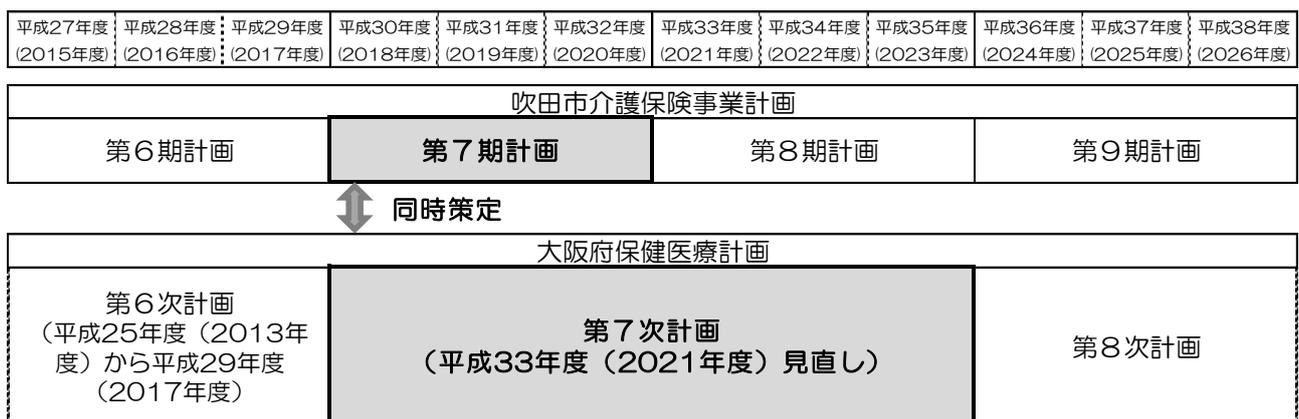
第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期 吹田健やか年輪プラン）の P 1 1 3 抜粋

**【参考】地域医療構想・大阪府保健医療計画・吹田市介護保険事業計画の関係**

平成26年（2014年）の「医療介護総合確保推進法」により医療法が改正され、第6次大阪府保健医療計画の一部として地域医療構想が策定されました。

これまで、大阪府保健医療計画は5年ごとに策定されてきましたが、介護サービスも含めた地域のケア体制を計画的に整備するため、介護保険事業計画の策定期間に合わせ、第7次大阪府保健医療計画からは、6年ごとに策定されることとなります。平成30年度（2018年度）は、第7次大阪府保健医療計画と第7期吹田市介護保険事業計画が同時スタートとなるため、両計画及び大阪府介護保険事業支援計画の一体的な策定を図る観点から、医療・介護担当者等の関係者による「協議の場」において検討するなど、緊密な連携を図り、各計画の内容に整合性を持たせています。

具体的には、大阪府保健医療計画において大阪府・二次医療圏全体の在宅医療の提供量（整備目標）と市町村ごとの在宅医療・在宅介護の提供量をそれぞれ算出し、吹田市介護保険事業計画における介護の整備目標と整合性を図っています。また、在宅医療の充実に向けた取組についても整合性を図っています。



★平成28年（2016年）3月  
地域医療構想策定

★平成30年度（2018年度）  
診療報酬・介護報酬 同時改定

# 第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期 吹田健やか年輪プラン）素案概要

パブリックコメント関連資料

## 第1章 計画概要

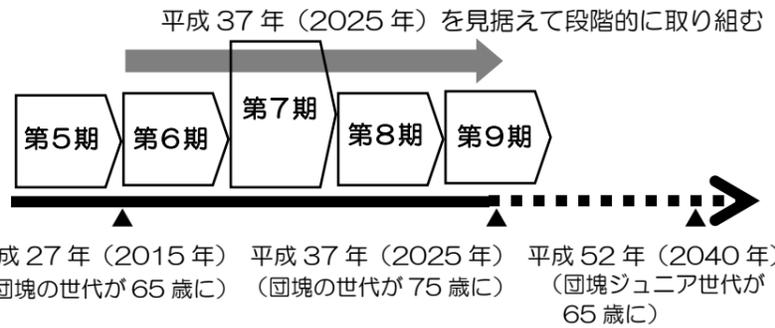
### (1) 法的位置付け

- ・老人福祉法第20条の8の規定に基づく老人福祉計画
- ・介護保険法第117条第1項の規定に基づく介護保険事業計画を一体的に策定

### (2) 計画期間

平成30年度（2018年度）から平成32年度（2020年度）までの3年間

団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年（2025年）、更に団塊ジュニア世代が65歳以上となる平成52年（2040年）を見据え、地域包括ケアシステムの構築に段階的に取り組むためのロードマップも示す



## 第2章 高齢者を取り巻く状況

### (1) 高齢者人口と高齢化率

75歳以上人口の割合は上昇を続ける見込み

75歳以上割合

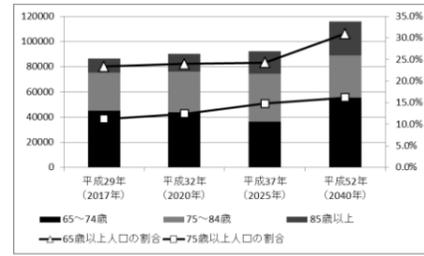
平成29年（2017年）

→平成37年（2025年）

11.2%→14.8%

平成52年（2040年）

65歳以上人口 115,790人・65歳以上割合 31.0%の見込み



### (2) 認定率

平成29年（2017年）

→平成37年（2025年）

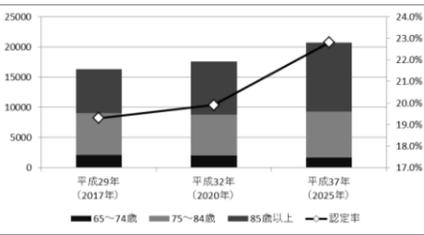
認定率

19.3%→22.8%

85歳以上の認定者数

7,295人→11,429人

（約1.6倍の増加）



### (3) 認知症高齢者数

平成37年（2025年） 18,454人

（約5人に1人←新オレンジプラン）

うち、65歳以上の要介護認定者は9,885人の見込み

## 第3章 基本的な考え方

### (1) 将来像

住み慣れた地域で自分らしく健やかに安心・安全に暮らせるまち  
～ずっとすいたで、ずっと元気に～

### (2) 3つの施策と8つの基本目標

#### 施策1 生きがいがづくりと社会参加の促進

**基本目標1**  
生きがいがづくりと健やかな暮らしの充実

- 1 高齢者の地域活動や社会参加の促進
- 2 生涯を通じた健康づくりの推進

#### 施策2 地域支援体制等の充実

**基本目標2**  
相談支援体制の充実

- 1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化
- 2 地域包括支援センターを核としたネットワークの構築
- 3 地域での支え合い機能の強化
- 4 介護者支援の充実
- 5 権利擁護体制の充実

**基本目標3**  
介護予防の推進

- 1 介護予防の普及啓発の推進
- 2 住民主体の介護予防活動支援の充実

**基本目標4**  
自立した暮らしの実現に向けた支援の充実

- 1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着
- 2 高齢者安心・自信サポート事業の充実
- 3 高齢者が支え合う生活支援体制の整備
- 4 暮らしを支える在宅福祉サービス等の提供

**基本目標5**  
認知症支援の推進

- 1 認知症についての啓発
- 2 認知症の人とその家族への支援
- 3 地域における見守り体制の構築
- 4 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進

**基本目標6**  
在宅医療と介護の連携の推進

- 1 在宅療養を支えていくための連携体制の推進
- 2 在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築
- 3 在宅療養等についての情報発信・相談支援
- 4 在宅療養のための基盤整備

**基本目標7**  
安心・安全な暮らしの充実

- 1 高齢者向け住まいの安定確保に向けた支援
- 2 バリアフリー化の推進
- 3 防災・防犯の取組の充実

#### 施策3 介護保険制度の安定的運営

**基本目標8**  
介護保険サービスの充実・  
介護保険制度の持続可能な運営

- 1 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進
- 2 利用者支援の充実
- 3 介護保険サービスの整備

## 第4章 施策の展開（裏面）

本計画では、3つの施策、8つの基本目標の下、多くの取組を挙げており、その1つ1つが組み合わさって「桶」を構成しているというイメージです。今でも、住み慣れた地域で暮らすことができている人はいますが、「桶」の容量や強度は十分とはいえません。平成37年（2025年）を見据え、行政だけではなく、市民、事業者等が一体となって、「桶」を段階的に大きく・強くしていく必要があります。そのための主要な取組を「地域包括ケアシステム構築のロードマップ」として基本目標ごとにまとめます。 **基本目標ごとのロードマップ（裏面）**

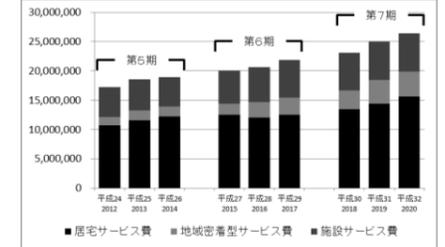
## 第5章 介護保険サービスの見込量と保険料

### (1) 施設整備の見込

小規模特別養護老人ホーム 4か所  
認知症高齢者グループホーム 2か所 など

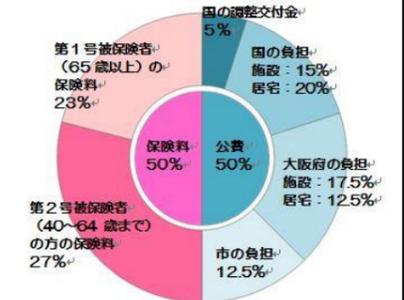
### (2) 介護保険給付費の見込額

第5期計画値（実績値） 654.8億円（602.5億円）  
第6期計画値（実績見込） 728.3億円（664.8億円）  
第7期計画値案 841.3億円



### (3) 介護保険料（基準額・月額）の見込

第6期 5,390円  
第7期 約6,600円  
第9期 約9,300円



## 第6章 地域包括ケアシステム構築のロードマップ～2025年を見据えて～

平成37年（2025年）が8年後に迫り、更にその先の平成52年（2040年）も視野に入れる中、第7期（2018-2020）だけではなく、少なくとも第8期（2021-2023）、第9期（2024-2026）までの見通しを持って地域包括ケアシステムの構築を進めていくことが必要です。

本計画において、平成37年（2025年）までのより具体的な取組と計画期間ごとの目標を示すロードマップをまとめます。

### 具体的取組のイメージ



住み慣れた地域での暮らしを支える器が「桶」だとすると

- ①「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」などが「板」
- ②「地域包括支援センター」が板をつなぎ合わせる役割
- ③「住環境」が「底」

1枚1枚の「板」を大きくしつつ、しっかりとつなぎ合わせるとともに、「底」を強くしていくことで、より多くの人の暮らしを支えられる「桶」になります。

**基本目標1 生きがいつくりと健やかな暮らしの充実**  
生涯学習や生涯スポーツと連携し、生きがいつくり・健康づくりの推進に取り組みます。

**施策の方向1 高齢者の地域活動や社会参加の促進**

- ・生きがいつくりの充実
- ・生涯学習の推進
- ・地域活動参加への支援
- ・就労への支援

**施策の方向2 生涯を通じた健康づくりの推進**

- ・生涯スポーツの推進
- ★健康診査及び各種検診の啓発及び受診率の向上
- ★疾病予防の推進

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

高齢者が生きがいを持って暮らし、市民の健康寿命が延伸しています。

- ・生きがいがある人 51.1% → 65%
- ・地域づくりへの参加意向 57.3% → 70%
- ・シルバー人材センター会員数 1,842人 → 2,134人
- ・成人の週1回以上スポーツ実施 36.7% → 65%
- ・健康寿命  
男性 79.94歳、女性 83.66歳 → 男性 81歳、女性 85歳

**基本目標2 相談支援体制の充実**  
地域包括支援センターと地域のさまざまな相談窓口との連携強化により、相談支援体制の充実を図ります。

**施策の方向1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化**

- ★地域包括支援センターの適切な運営と機能強化

**施策の方向2 地域包括支援センターを核としたネットワークの構築**

- ★相談窓口の周知・充実
- ・相談支援の連携体制の構築

**施策の方向3 地域での支え合い機能の強化**

**施策の方向4 介護者支援の充実**

- ★家族介護者への支援の充実
- ・介護離職防止に向けた取組の推進

**施策の方向5 権利擁護体制の充実**

- ・権利擁護事業の充実
- ★高齢者虐待防止に向けた取組の推進
- ★消費者被害の防止に向けた啓発の推進

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

地域包括支援センターが地域包括ケアシステムの中核機関としての機能を果たしています。

- ・地域包括支援センターの認知度 41.7% → 50%
- ・成年後見制度の認知度 27.2% → 40%

**基本目標3 介護予防の推進**  
介護保険法の理念と介護予防の正しい知識の普及啓発を図り、介護予防事業へ取り組むとともに住民主体の介護予防活動への支援を図ります。

**施策の方向1 介護予防の普及啓発の推進**

- ★高齢者本人の介護予防意識の啓発
- ・ハイリスク高齢者の早期発見
- ★介護予防事業の充実
- ・民間企業等との連携による介護予防の推進
- ★介護予防事業の評価・検証

**施策の方向2 住民主体の介護予防活動支援の充実**

- ★身近な地域における住民主体の介護予防活動支援の充実
- ・介護予防推進員の養成及びフォローアップ
- ★介護予防活動のための拠点の確保

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

元気なうちから主体的・継続的に介護予防に取り組んでいる市民が増えています。

- ・健康や介護予防のために心がけていることが「特にない」高齢者 6.6% → 0%
- ・公園体操 4か所 → 15か所
- ・いきいき百歳体操 23か所 → 375か所
- ・いきいき百歳体操参加者数 1,430人 → 5,620人

**基本目標4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実**  
介護保険法の理念に沿った自立支援型ケアマネジメントの考え方の浸透・定着を図るとともに、多様な主体による高齢者を支え合う地域づくりを進めます。

**施策の方向1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着**

- ・自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着
- ★多職種協働によるケアプランの検討

**施策の方向2 高齢者安心・自信サポート事業の充実**

**施策の方向3 高齢者が支え合う生活支援体制の整備**

- ・生活支援等の担い手としての活動参加の促進
- ★集いの場の充実に向けた支援

**施策の方向4 暮らしを支える在宅福祉サービス等の提供**

- ・在宅福祉サービス等の提供

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

地域で支え合う関係のもと、生活支援サービスなどにより自立した暮らしができています。

- ・自立支援型ケアマネジメントを理解する事業者 10.8% → 100%
- ・地域づくりへの企画・運営としての参加意向 32.3% → 40%

**基本目標5 認知症支援の推進**  
「認知症になっても、安心して暮らせるまち吹田」をめざします。

**施策の方向1 認知症についての啓発**

- ★認知症サポーターの養成
- ★認知症サポーターの自主的な活動への支援

**施策の方向2 認知症の人とその家族への支援**

- ★認知症についての情報の周知
- ★早期発見・早期対応に向けた支援の充実
- ・身近な地域での相談や集える場所の確保
- ・若年性認知症の人の支援

**施策の方向3 地域における見守り体制の構築**

**施策の方向4 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進**

- ★認知症地域支援推進員による取組の推進

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

認知症になっても住み慣れた地域での暮らしを継続することができています。

- ・認知症サポーター養成 17,403人 → 46,650人

**基本目標6 在宅医療と介護の連携の推進**  
「医療と介護 重ねた年輪 支える吹田」をめざし、医療と介護の連携に取り組みます。

**施策の方向1 在宅療養を支えていくための連携体制の推進**

- ・在宅医療・介護連携の推進
- ・在宅医療推進のための環境づくり

**施策の方向2 在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築**

- ★在宅療養推進のため研修の実施
- ・在宅医療・介護連携のための情報共有の支援

**施策の方向3 在宅療養等についての情報発信・相談支援**

- ★在宅療養等についての市民啓発の推進
- ★在宅療養のための医療・介護資源についての情報提供

**施策の方向4 在宅療養のための基盤整備**

- ・在宅療養を支える介護保険サービスの確保
- ★在宅医療を支える連携体制の構築

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

医療と介護が両方必要な状態になっても、最期まで自分らしい暮らしができています。

- ・医療介護連携の関係者の満足度 45.9% → 50%
- ・人生の最終段階における話し合いをしたことがある高齢者 41.6% → 70%

**基本目標7 安心・安全な暮らしの充実**  
住まいの支援と、防災・防犯に備えるための取組を進めます。

**施策の方向1 高齢者向け住まいの安定確保に向けた支援**

- ・住み慣れた家で暮らし続けるための支援の提供
- ★高齢者向け住まいの情報提供と相談の実施
- ・高齢者向け住まいの供給

**施策の方向2 バリアフリー化の推進**

- ・バリアフリー化の推進

**施策の方向3 防災・防犯の取組の充実**

- ・地域における防災力向上の推進
- ・減災に向けた取組の推進
- ・地域における防犯力向上の推進
- ★消費者被害や特殊詐欺被害の防止に向けた取組の充実

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

本人の希望や状況に応じた住まい方ができ、安心して暮らすことができています。

- ・住まいの困りごと 段差が多い 25.2% → 10%
- ・自主防災組織結成率 64.7% → 100%
- ・特殊詐欺被害件数 76件 → 0件

**基本目標8 介護保険サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営**  
介護人材確保と介護給付適正化、介護保険サービスの整備・質の向上を図ります。

**施策の方向1 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進**

- ★介護人材確保策の推進
- ・介護保険サービスの質の向上と介護給付適正化

**施策の方向2 利用者支援の充実**

- ★介護保険制度の情報提供の充実
- ・低所得者支援の充実

**施策の方向3 介護保険サービスの整備**

- ・地域密着型サービスの整備
- ★今後の施設整備のあり方の検討

——— <2025年を見据えたロードマップ> ———

介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けながら住み慣れた地域で暮らすことができています。

- ・介護保険サービスの満足度 67.8% → 70%
- ・利用者負担軽減事業実施法人 40% → 100%
- ・認知症高齢者グループホーム 17か所 → 20か所
- ・小規模特別養護老人ホーム 6か所 → 12か所